

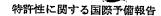
PCT

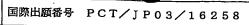
特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

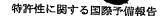
REC'D 10 3 MAR 2005	
WIPO PC1	-

LLIPSE I TO LA COMPANIA					
出願人又は代理人 の書類記号 FI-6703	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。				
国際出願番号 PCT/JP03/16258	国際出願日 (日.月.年) 1	8. 12.	2003	優先日 (日.月.年) 25	5. 12. 2002
国際特許分類 (IPC) Int. C!	C07C43/	12, 41	/01, 49/	517, 45/6	. 4
出願人 (氏名又は名称)					
	出光興産株式	会社			
 この報告書は、PCT35条に基づき 法施行規則第57条 (PCT36条)の この国際予備審査報告は、この表紙を 	が現在に使い送付	する。			
3. この報告には次の附属物件も添付され a 附属書類は全部で	いている。				
補正されて、この報告の基礎 囲及び/又は図面の用紙 (P	C 1 AFRITO. 16/2	い失地神具	明第607号容	悦)	•
第 I 欄4. 及び補充欄に示し 国際予備審査機関が認定した	たように、出願® 差替え用紙	寺における	国際出願の開示	の範囲を超えた補	正を含むものとこの
b 図子媒体は全部で 配列表に関する補充綱に示すよ ブルを含む。(実施細則第80	うに、コンピュー 2号参照)	一夕読み取	り可能な形式に	(電子媒体のようでは よる配列表又は配列表では なった。	・ 種類、数を示す)。 列表に関連するテー
4. この国際予備審査報告は、次の内容を	 含む。				
区 第 I 棚 国際予備審査報告 第 I 棚 優先権 第 I 棚 新 I 機 、	【は産業上の利用】	可能性につ	いての国際予備	『審査報告の不作成	
□ 第IV欄 発明の単一性の欠区 第V欄 PCT35条(2)↓けるための文献及□ 第VI欄 ある種の引用文献	て如 に規定する新規性 とび説明				
□ 第V□梱 国際出願の不備 □ 第V□梱 国際出願に対する	4				
国際予備審査の請求啓を受理した日 08.06.2004		国際予備	備審査報告を作り	成した日 14.02.20	0 5
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP)		特許庁智	存査官(権限の	ある職員)	4H 8318
郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3	3号		前田 您	彦	<u> </u>
		電話番号	03-358	31-1101 内	總 3443





第Ⅰ概	報告の基礎	
1. 20	7国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほ	か、国際出願の言語を基礎とした。
. []	この報告は、 語による翻訳文 それは、次の目的で提出された翻訳文の言語でま PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査 PCT規則12.4にいう国際公開 PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査	を基礎とした。 らる。
2. この た差替)報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6 に用紙は、この報告において「出願時」とし、こ	条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され の報告に添付していない。)
X	出願時の国際出願咨類	
	明細書 第 ページ、 第 ページ*、 第 ページ*、	出願時に提出されたもの
	第	出願時に提出されたもの PCT19条の規定に基づき補正されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	図面	出願時に提出されたもの 付けで国際予備家本機則が受理したもの
	配列表又は関連するテーブル 配列表に関する補充欄を参照すること。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3. [_]	補正により、下記の書類が削除された。 明細書 第	
4. <u> </u>	明細書 第	添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超れなかったものとして作成した。 (PCT規則70.2(c))
[請求の範囲 第 図面 第 配列表(具体的に記載すること) 配列表に関連するテーブル(具体的に記載する	項 ページ/図 ること)
* 4. K	該当する場合、その用紙に "superseded" と記ノ	くされることがある。



国際出願番号 PCT/JP03/16258

-	それを裏付ける文献及び記	とりかり用 可能性 発明	Eについての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、 					
1.	見解							
	新規性 (N)	請求の範囲 請求の範囲	1-4	有無				
	進歩性(IS)	請求の範囲請求の範囲	1-4	有無				
•	産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 請求の範囲		有無				
2:	文献及び説明(PCT規則70	0. 7)						
	文献1. Journal of Fluorine Chemistry, 1999, Vol. 97, No. 1-2, p. 75-78 文献2. Chemical & Pharmaceutical Bulletin, 1997, Vol. 45, No. 3, p. 452-456 文献3. Journal of the American Chemical Society, 1996, Vol. 118, No. 40, p. 9792-9793 文献4. Izvestiya Akademii Nauk, Seriya Khimicheskaya, 1995, No. 9,							
	P. 1000 1000		uk, Seriya khimicheskaya, 1995, No.9, 1.43, No.10, p.2311-2316					

有しない。 文献1-5にはハロメトキシアダマンタン誘導体又はハロメトキシアルキルアダマンタン誘導体と、その製造方法が記載されている。